

キャラクターデザイン募集

四番丁コミュニティのマスコット「ハゲさん」の新しいキャラクターデザインを募集します

戦前まで現在の高松市中央公園の場所にあった浄願寺の境内には、愛称「ハゲさん」というタヌキが住みついていたそうです。このタヌキは、金の茶釜に化けて貧乏な老夫婦を助けようとなりました。

このような幸せをもたらすタヌキの伝承を大切にしてきた四番丁地区では、まちづくりの一環として中央公園にハゲさんの石像を建立し、ハゲさんまつりを開催するなど、この地域のマスコットとして、ハゲさんに親しみを抱いてきました。

このような経緯を踏まえ、「ハゲさん」の新たなマスコットキャラクターのデザインを募集いたします。地域の人々に愛される、オリジナリティあふれるデザインを、是非ご提案ください。

募集期間

令和7年7月1日(火)～8月25日(月)

応募資格

不問

賞金

3万円

あなたの
デザインが
地域の新たな
マスコットに!!

応募要領

- ・カラーの平面画で、正面、側面、背面の3種類を提出してください
- ・平面画は、それぞれA4判程度の書面で提出してください
※プリンターが無いなどの理由によりデータで提出したい場合は、ご相談ください
- ・作成者の住所、氏名、年齢、職業（又は学校名）、連絡先、デザインの意図や工夫したことなどを、別紙で添付してください
- ・提出物は、返却しません

提出期限

- ・持参の場合は、8月25日(月)15時までに必着
- ・郵送の場合は、8月21日(木)の消印まで有効

採用デザインの決定

- ・四番丁コミュニティ協議会が設置する審査委員会で、決定します
- ・採用デザインは、地域広報誌「ハゲさん通信」、四番丁コミュニティセンターホームページ、SNS等で発表します
- ・採用が決定したデザインに電子データがある場合には、提出をお願いする場合があります
- ・キャラクターの基本デザインの著作権、並びにキャラクターの様々な表情や動きなどを加味した変更を施し印刷物や着ぐるみ等に使用する権利は、四番丁コミュニティ協議会が保有します

提出先・問合せ先

四番丁コミュニティセンター 担当：窪（クボ）

〒760-0017 高松市番町 2-3-5 TEL/FAX 087-851-8479

ハゲさんものがたり

むかしむかし、高松の浄願寺に1ぴきのタヌキが住みついておってな、人々は、「ハゲさん、ハゲさん」と呼んでおったんだそうな。

ある日のこと、ハゲさんダヌキが1軒のみすぼらし家の前を通りかかったとき、中から「なあ、ぼあさんや、正月が来るのに金がないので餅もつけへんなあ。浄願寺さんへお詣りにも行けんなあ…」と、ため息をつきながら話す声が聞えてきたんじゃそうな。

ハゲさんは、むしように2人のことが気の毒になってしまって、後のことは何も考えずに「じいさん、わしにまかせておけ」と言うてしもうたと。

約束はしたものの、金をつくるあてのないハゲさんは困ってしもうて、タヌキ友だちの所へ相談に行ったそうな。

それでもいい考えがなかなかうかばなんだ。そこで友だちは、「こうなったらしょうがない。お前が何か金目の物に化けてしまえ」というので、ハゲさんは、じいさんの家の前で金の茶がまに化けたんだと。

じいさんはよろこんで、さっそくその金の茶がまを金持ちのごいんきょさんに売り、それで正月の用意をしたそうな。

さて、金の茶がまに化けたハゲさんは、すぐにごいんきょの所から逃げ出そうと思ったが、毎日、朝、昼、晩と金の茶がまを手にして、うっとりしているごいんきょの顔を見ていると、どうしても逃げ出すことができなんだそうな。

ところがある日のこと、ごいんきょが金の茶がまに水を入れて火にかけたんだと。

はじめのうちは、水が入っているのでそれほどでもなかったのじゃが、だんだんあつうなってきた。ハゲさんは、必死でがまんしていたが、どうにもこうにもがまんができんようになってしもうた。「あっちっちい」とうとうハゲさんはひめいをあげ逃げ出したんだと。

ハゲさんは、家へ帰ってよくよく見ると、今までふさふさとはえておったかみの毛が焼けてしもうて1本もなくなっておった。

ハゲさんが泣きながら寝ていると、浄願寺のおしょうさんが来て、鏡餅を三つくださってなぐさめてくれたんだと。

今でも子どもたちは「いま泣いたのだあれ…。お鏡三つで笑うた」と歌っているんじゃそうな。

(四番丁連合自治会創立30周年記念誌より)



高松市中央公園の「ハゲさん」石像（令和7年5月撮影）